

第4章 重点エリアと主要事業

4-1 重点エリア

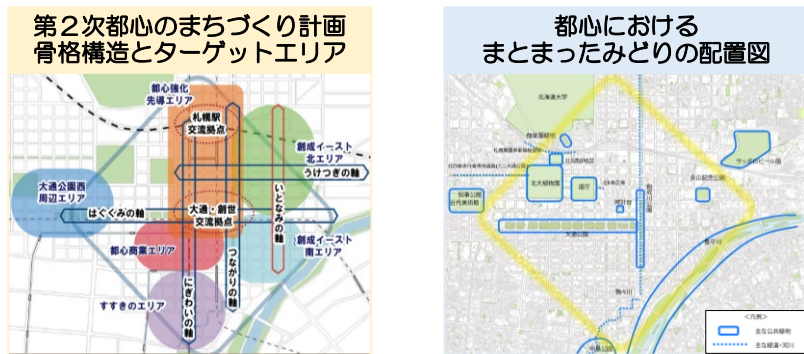
(1) 重点エリアの設定

都心部のなかでも特に大事な5つの街路や3つの地域を8つの重点エリアに位置づけます。

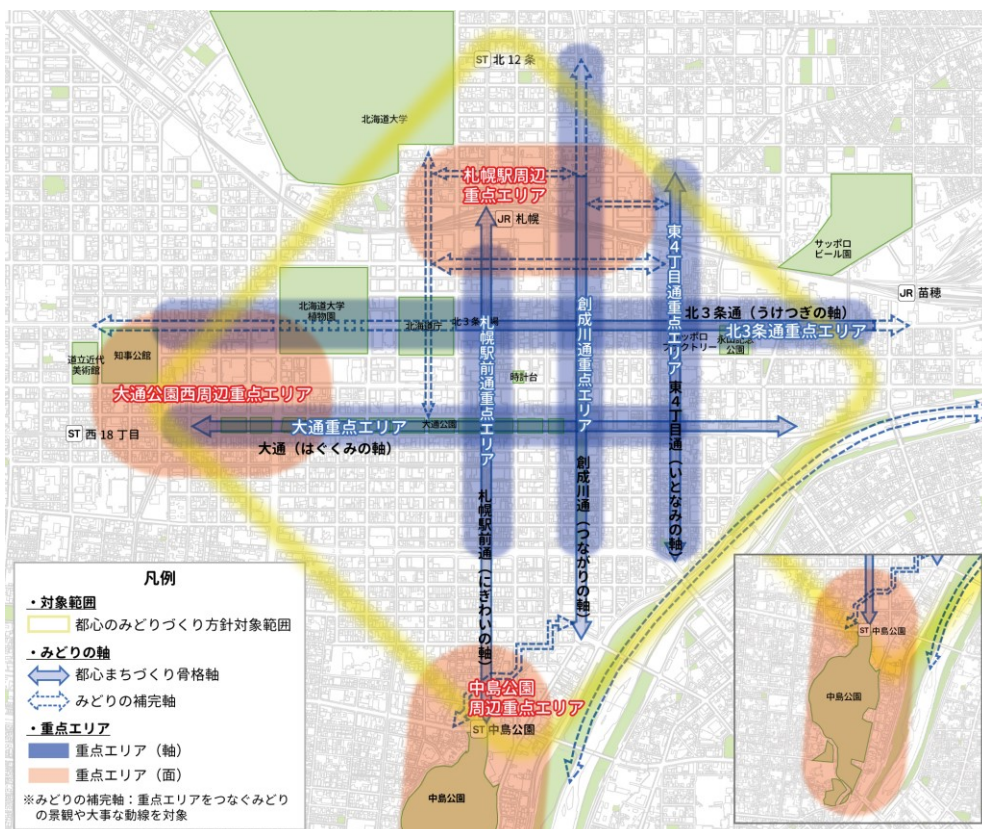
重点エリアの設定にあたっては、第2次都心まちづくり計画の骨格構造と都心におけるまとまったみどりを基に設定しています。

なお、重点エリアをつなぐみどりの景観や大事な動線を「みどりの補完軸」とし、第2次都心まちづくり計画の骨格軸とみどりの補完軸を合わせて「みどりの軸」とします。

次ページ以降では、各重点エリアについて、みどりづくりの視点、主な取組や、各基本方針（**公** 基本方針1、**民** 基本方針2、**協** 基本方針3）との関係性について整理していきます。



■重点エリア図



(2) 各エリアの特徴・みどりづくり・将来イメージ

① 札幌駅前通重点エリア

■エリアの特徴（トピック）

札幌の目抜き通り、チカホ、ポールタウン、地下鉄南北線、路面電車（サイドリザーベーション）

■まちづくりの動向

南2西3南西地区市街地再開発事業、北4西3地区地区計画、南4条西4丁目南地区地区計画、大通Tゾーン札幌駅前通地区地区計画、大通交流拠点地区地区計画、北2西3北地区優良建築物等整備事業、北3西3南地区優良建築物等整備事業

■みどりづくりについて

方向性

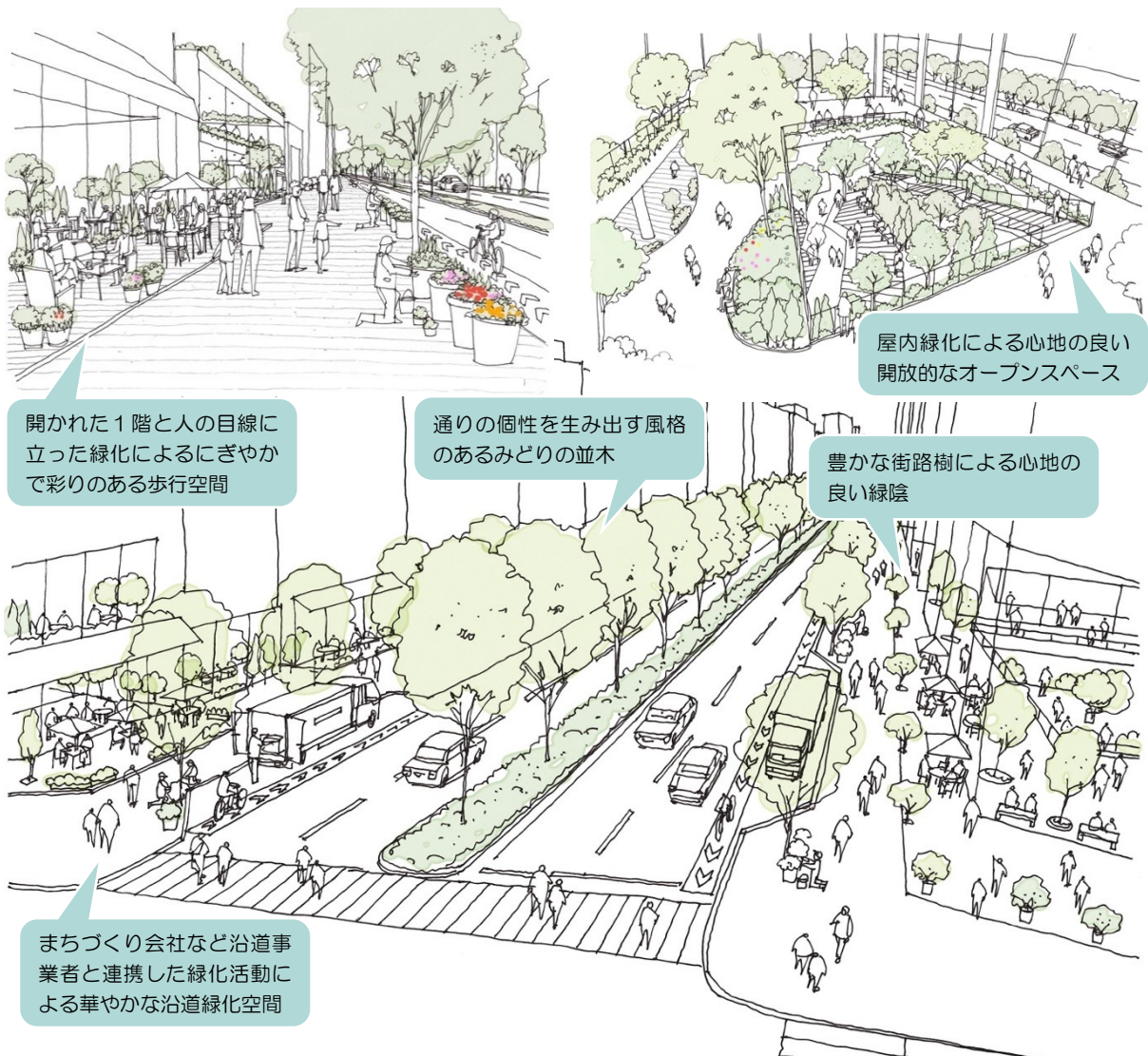
札幌の目抜き通りとしての賑わいや多様な活動と調和したみどりづくり

視点

風格あるみどり豊かな街路空間の形成と、沿道土地利用の更新に合わせた地上・地下のみどりの充実

取組

- 健全で風格のある道路緑化の強化 **公**
- まちづくり会社と連携した歩道美化 **協**
- 民間開発等によるみどり・公園機能の充実 **民**



② 大通重点エリア

■エリアの特徴（トピック）

都心のまちづくりの東西軸、沿道建物の更新、大通公園の設備老朽化、交通結節点（地下鉄3線、路線バス・都市間バス）

■まちづくりの動向

大通及びその周辺のまちづくり方針-札幌都心はぐくみの軸強化方針-の策定、大通交流拠点地区地区計画、大通東4地区優良建築物等整備事業

■みどりづくりについて

方向性

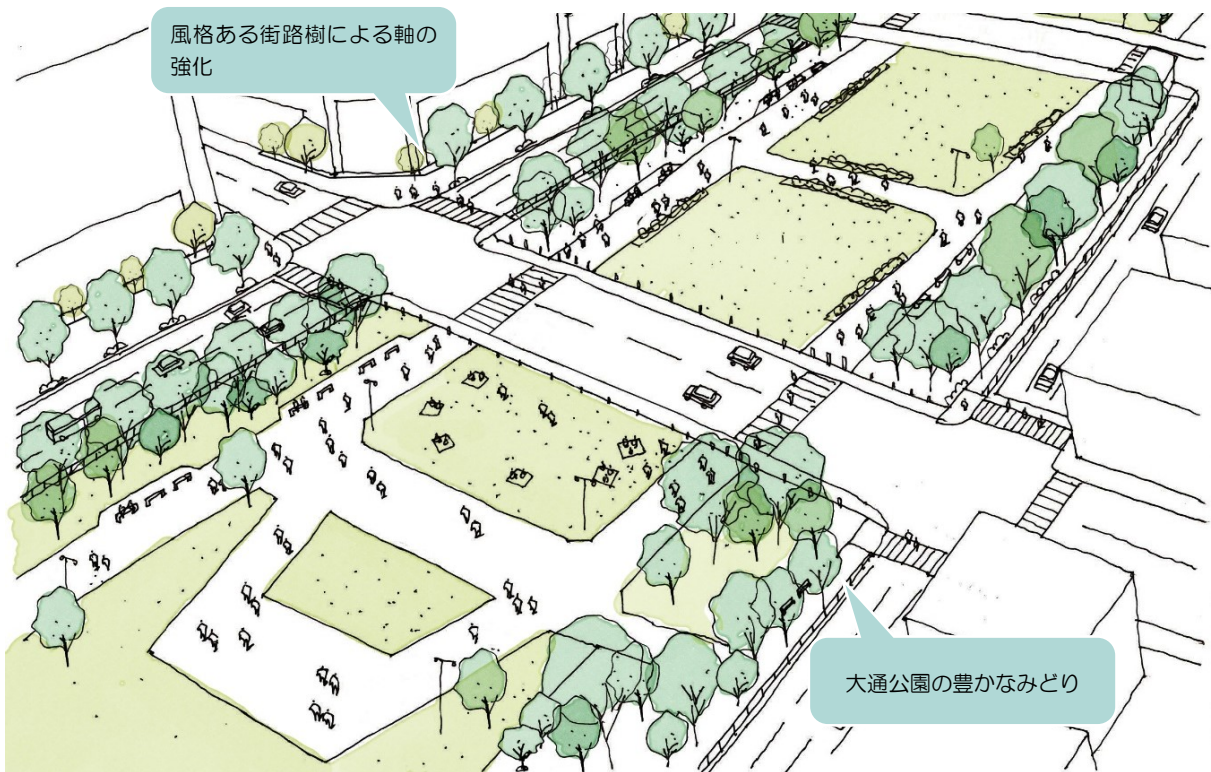
都心の発展に向け大通のさらなる魅力と機能の向上に資するみどりづくり

視点

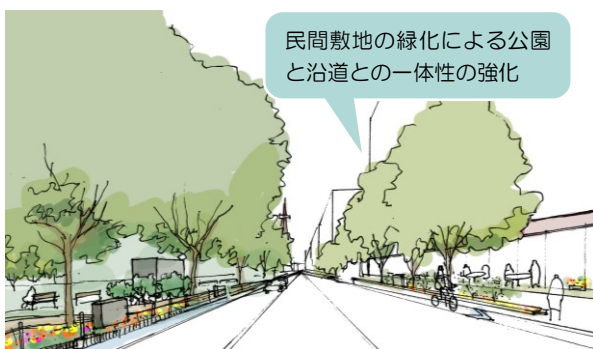
公園と沿道との一体感のあるみどりの空間の創出による、みどりの骨格軸の強化

取組

- 大通公園のあり方の検討 **公**
- 健全で風格のある道路緑化の強化 **公**
- 花による緑化活動の充実 **公 協**
- 民間開発等によるみどり・公園機能の充実 **民**



大通の街路の統一感あるイメージ



花苗による歩道美化のイメージ



様々な活動ができる大通公園の利用イメージ

③ 創成川通重点エリア

■エリアの特徴（トピック）

都心のまちづくりの南北軸、創成トンネル、創成川公園、狸二条広場※、

■まちづくりの動向

新幹線札幌駅舎の整備、一般国道5号創成川通（都心アクセス道路）の整備

■みどりづくりについて

方向性

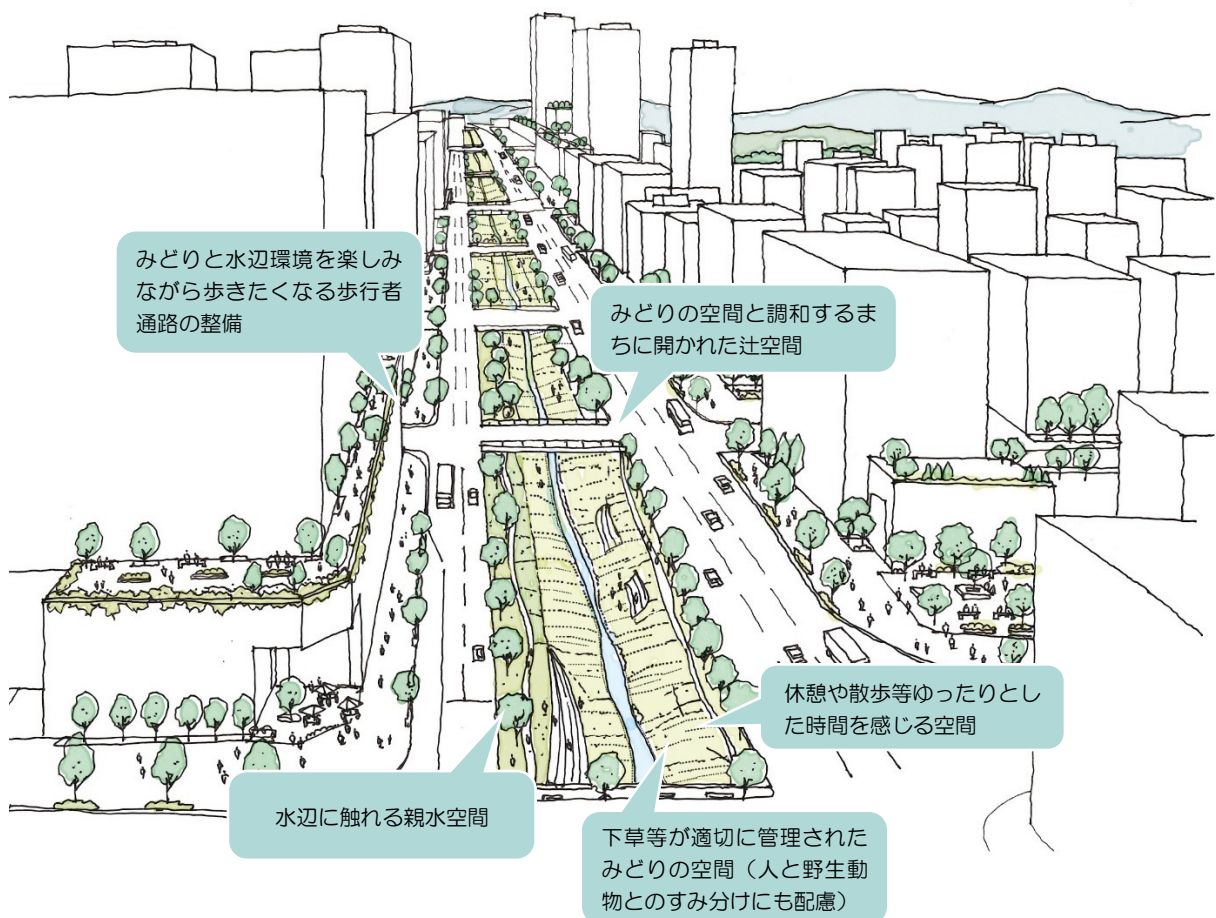
創成川の水辺環境と調和し、憩いとやすらぎを創出するみどりづくり

視点

親水・滞留空間の強化、札幌駅-大通駅間、創成川を介した東西市街地をつなぐみどり・回遊空間の創出

取組

○創成川公園以北の憩いの空間やみどりのネットワークの強化 **公**
○民間開発等によるみどり・公園機能の充実 **民**



※狸二条広場：狸二条広場はイベント等に活用可能な950㎡の広場。二条市場や狸小路商店街が隣接し、広場の多様な活用と既存施設との連携から、地区に新たな賑わいを生み出し札幌都心の新たな顔となりつつある。

④ 北3条通重点エリア

■エリアの特徴（トピック）

北海道庁旧本庁舎（赤レンガ庁舎）、北海道庁前庭、北3条広場（イチョウ並木）、赤レンガテラス、北海道大学植物園、サッポロファクトリー、永山記念公園

■まちづくりの動向

北4東6周辺地区市街地再開発事業、苗穂駅北口西地区優良建築物整備事業、北3東11周辺地区市街地再開発事業

■みどりづくりについて

方向性

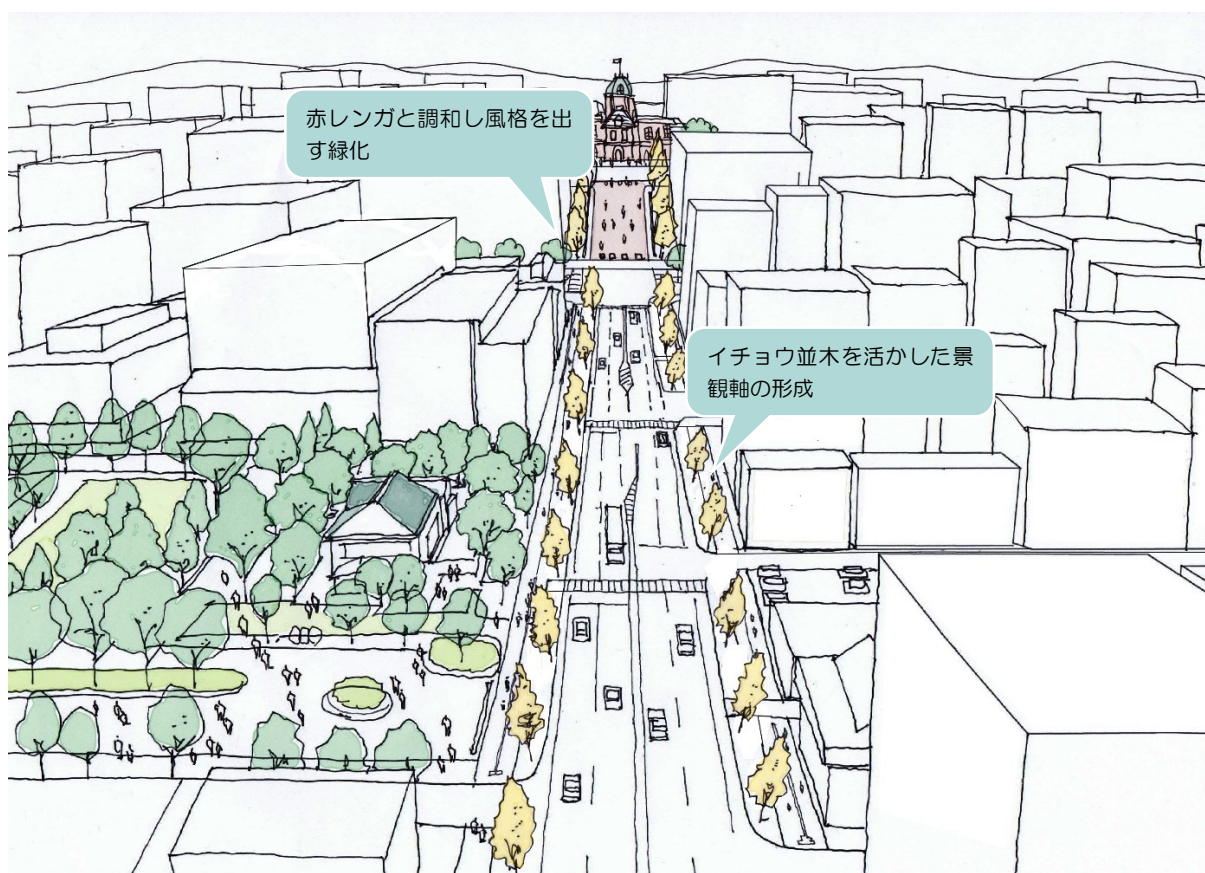
札幌の歴史や文化を継承し、風格を備えたみどりづくり

視点

沿道沿いの歴史資源に調和したみどりの空間の形成やネットワーク化、みどり・憩いの空間の充実

取組

- 健全で風格のある道路緑化の強化 **公**
- 沿道企業による緑化イベント（北3条広場フラワーカーペット） **協**
- 民間開発等によるみどり・公園機能の充実 **民**



⑤ 東4丁目通重点エリア

■エリアの特徴（トピック）

サッポロファクトリー、新渡戸稲造記念公園

■まちづくりの動向

東4丁目通拡幅整備、北6条東3丁目周辺地区地区計画

■みどりづくりについて

方向性

職・住・遊を支える軸としての象徴性と回遊性を創出するみどりづくり

視点

日常的な交流を生み出すため、街路整備などに合わせた身近なみどりの充実とエリア内への展開

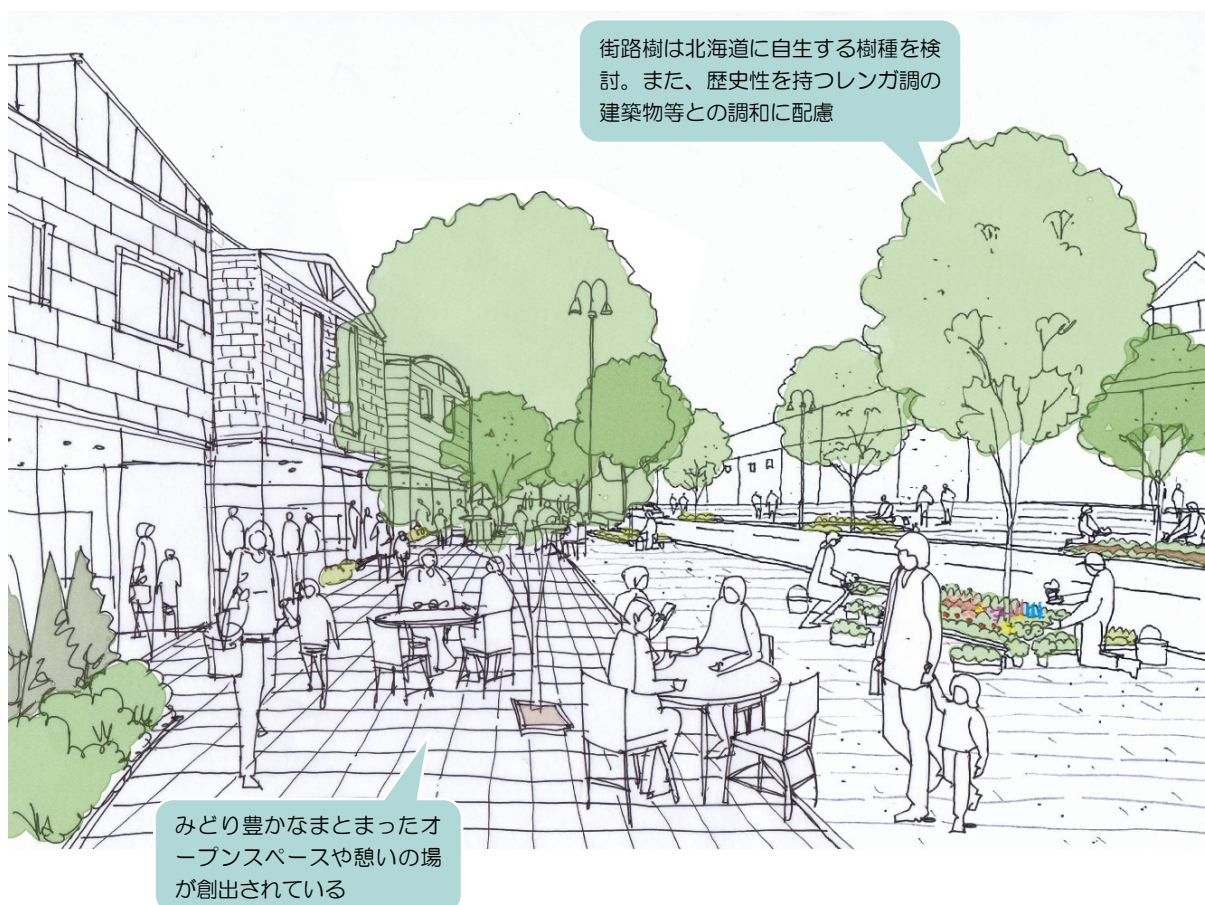
取組

○東4丁目通沿いのみどりの充実（歩道拡幅に伴う街路樹の整備）**公**

○民間開発等による都市公園の整備（（仮称）北6東2公園）**民**

○歩道美化の充実 **公**

○民間開発等によるみどり・公園機能の充実 **民**



⑥ 札幌駅周辺重点エリア

■エリアの特徴（トピック）

交通の玄関口（JR 札幌駅、南口駅前広場、北口駅前広場、地下鉄南北線・東豊線、バスターミナル）、JR タワー、アピア地下街、北5条・手稲通

■まちづくりの動向

北海道新幹線札幌延伸、北8西1地区市街地再開発事業、北4西3地区市街地再開発事業、札幌駅周辺地区（北5西1・西2街区ほか）市街地再開発事業、北6東3丁目周辺地区地区計画

■みどりづくりについて

方向性

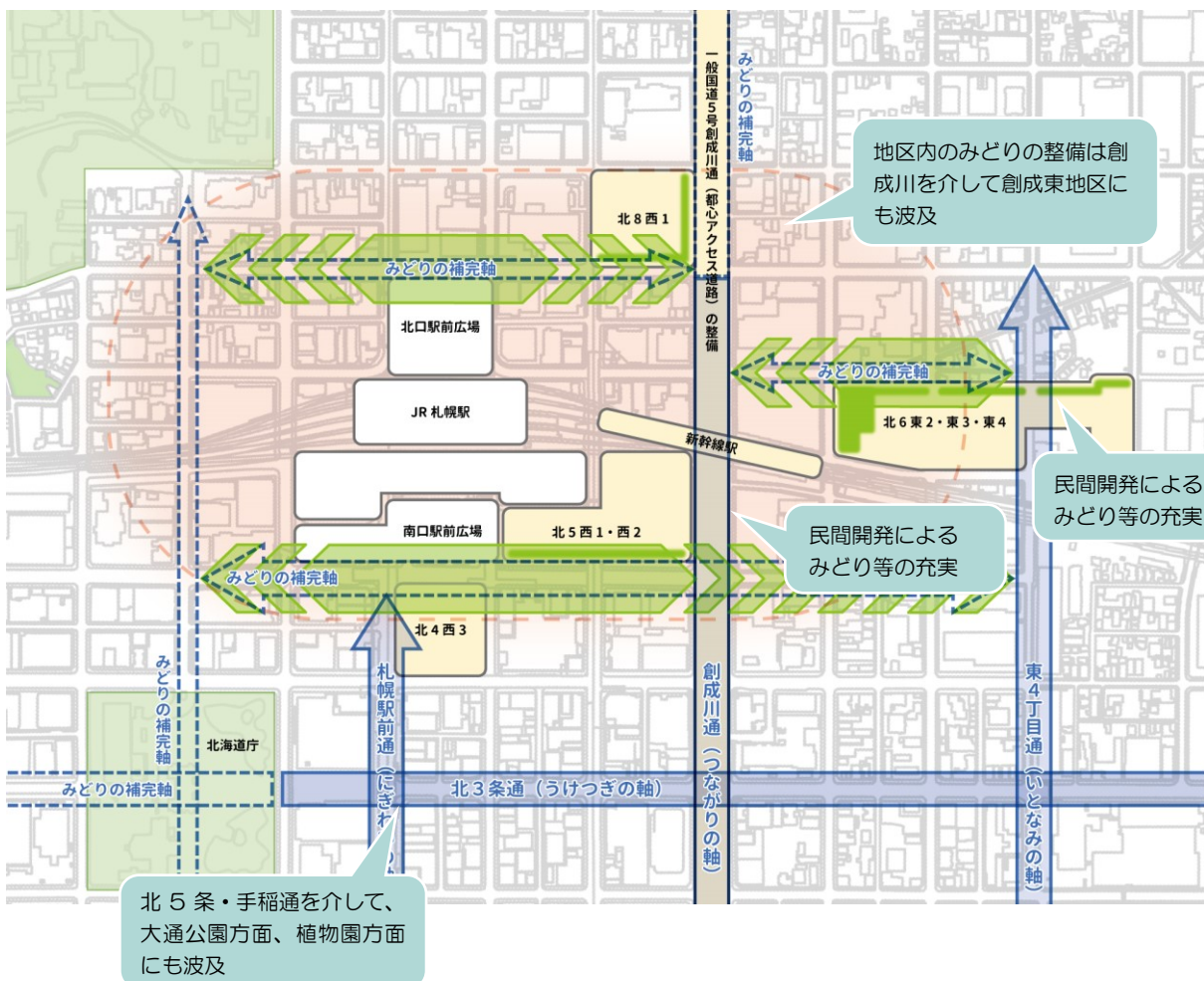
札幌の賑わい、活力の起点として、札幌らしさを象徴するみどりづくり

視点

札幌の玄関口の機能を支えるため、空間の高質化に寄与する屋内外での効果的なみどりの導入

取組

○札幌駅周辺のみどりの充実 **公 民**
○民間開発等によるみどり・公園機能の充実 **民**



⑦ 大通公園西周辺重点エリア

■エリアの特徴（トピック）

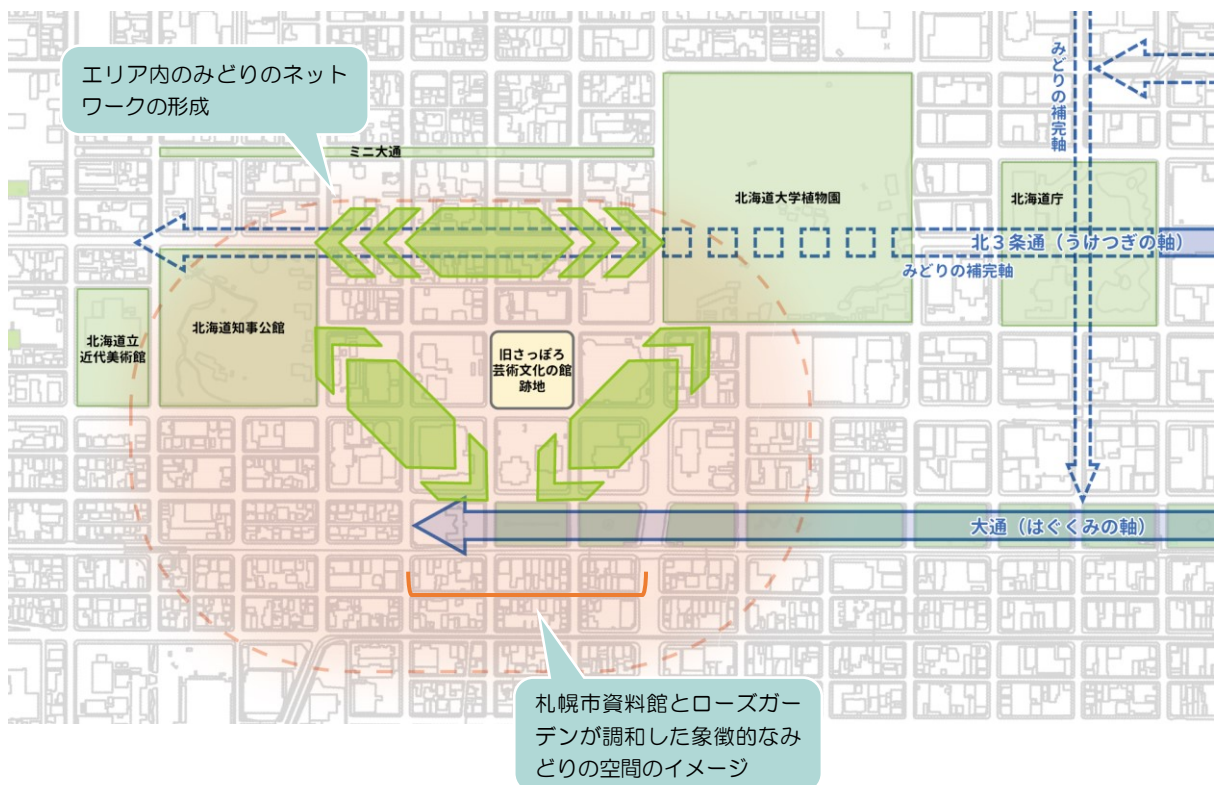
地下鉄東西線、NHK（新）、札幌市資料館、札幌市教育文化会館、旧札幌芸術文化の館跡地、北海道知事公館、北海道立近代美術館、ミニ大通

■まちづくりの動向

北3条通植物園以西へのみどりのネットワークの強化、
文化芸術施設や札幌市資料館など歴史的建造物のほか集客施設が複数立地、
北1西12街区跡地検討

■みどりづくりについて

方向性	文化・芸術・歴史資源と集客交流機能に寄与するみどりづくり
視点	都心の良好なみどり環境を維持し、まとまったみどり・憩いの空間の確保とネットワーク化
取組	<ul style="list-style-type: none"> ○北3条通植物園以西へのみどりのネットワークの強化 (公) ○大通公園のあり方の検討 (公) ○民間開発等によるみどり・公園機能の充実 (民)



⑧ 中島公園周辺重点エリア

■エリアの特徴（トピック）

地下鉄南北線、鴨々川、豊平館、Kitara、こぐま座、八窓庵、集客イベント（園芸市、さっぽろまつり、豊平川花火大会）

■まちづくりの動向

中島公園駅周辺地区まちづくり基本構想、新 MICE 施設整備事業

■みどりづくりについて

方向性

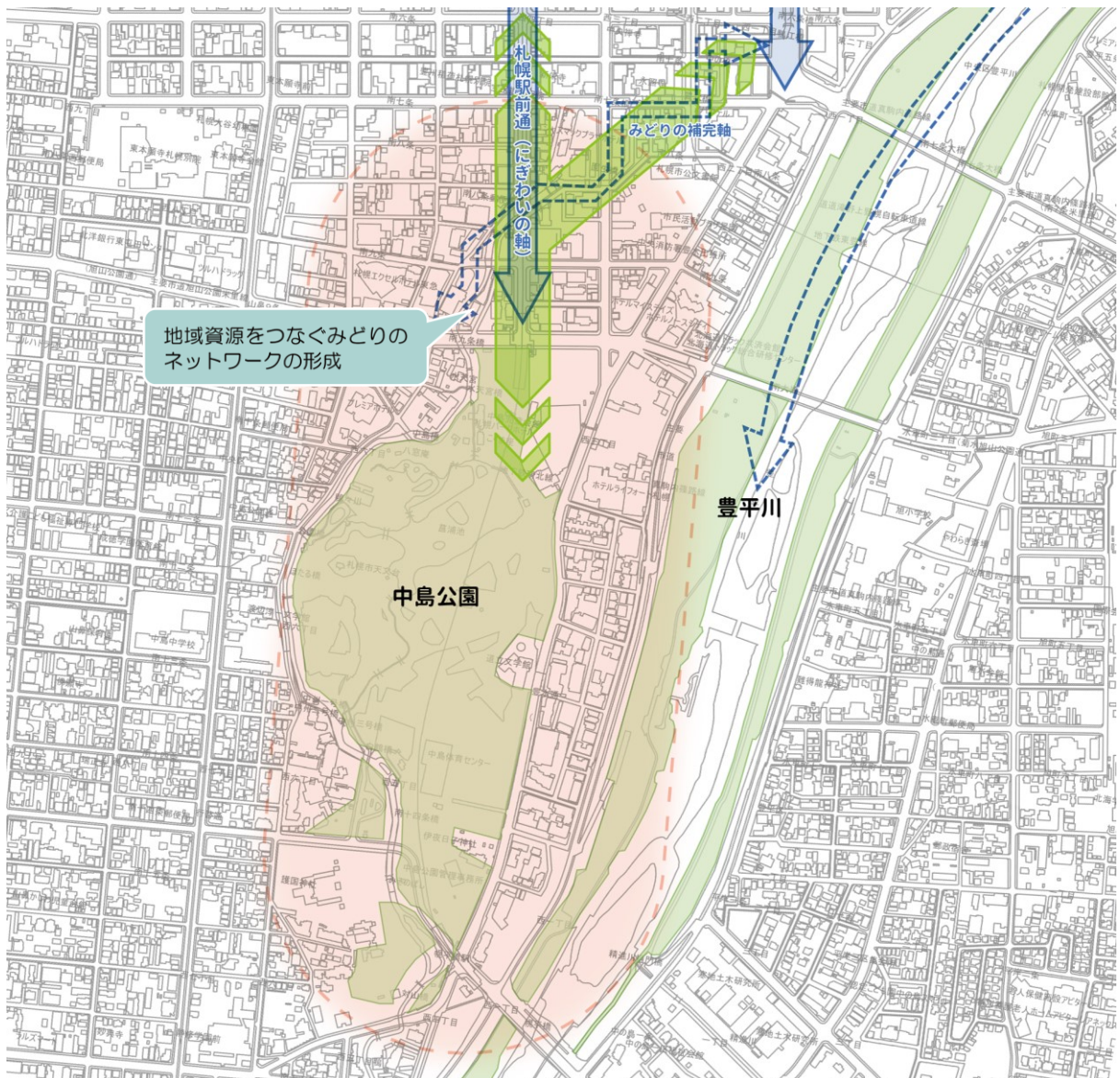
地域資源の公園や水辺空間を活かした、都心の新たな拠点を彩るみどりづくり

視点

エリアの象徴性を高めるため、まちづくりの動きに合わせた公園・みどりの空間や機能の強化

取組

- 中島公園の魅力アップに向けた機能の強化 **公**
- まちづくりの動きに伴うエリア内のみどりの充実 **民**
- 民間開発等によるみどり・公園機能の充実 **民**



みどりづくりを重点的に取り組むエリア

札幌駅周辺重点エリア

方向性 札幌の賑わい、活力の起点として、札幌らしさを象徴するみどりづくり

取組

- 札幌駅周辺のみどりの充実
- 民間開発等によるみどり・公園機能の充実



北5西1西2植物イメージ
出典：準備組合提供



北5西1西2スカイガーデンイメージ
出典：準備組合提供

大通重点エリア

方向性 都心の発展に向け大通のさらなる魅力と機能の向上に資するみどりづくり

取組

- 大通公園のあり方の検討
- 健全で風格ある道路緑化の強化
- 花による緑化活動の充実
- 民間開発等によるみどり・公園機能の充実



大通公園



大通公園 (雪まつり)

大通公園西周辺重点エリア

方向性 文化・芸術・歴史資源と集客交流機能を高めるみどりづくり

取組

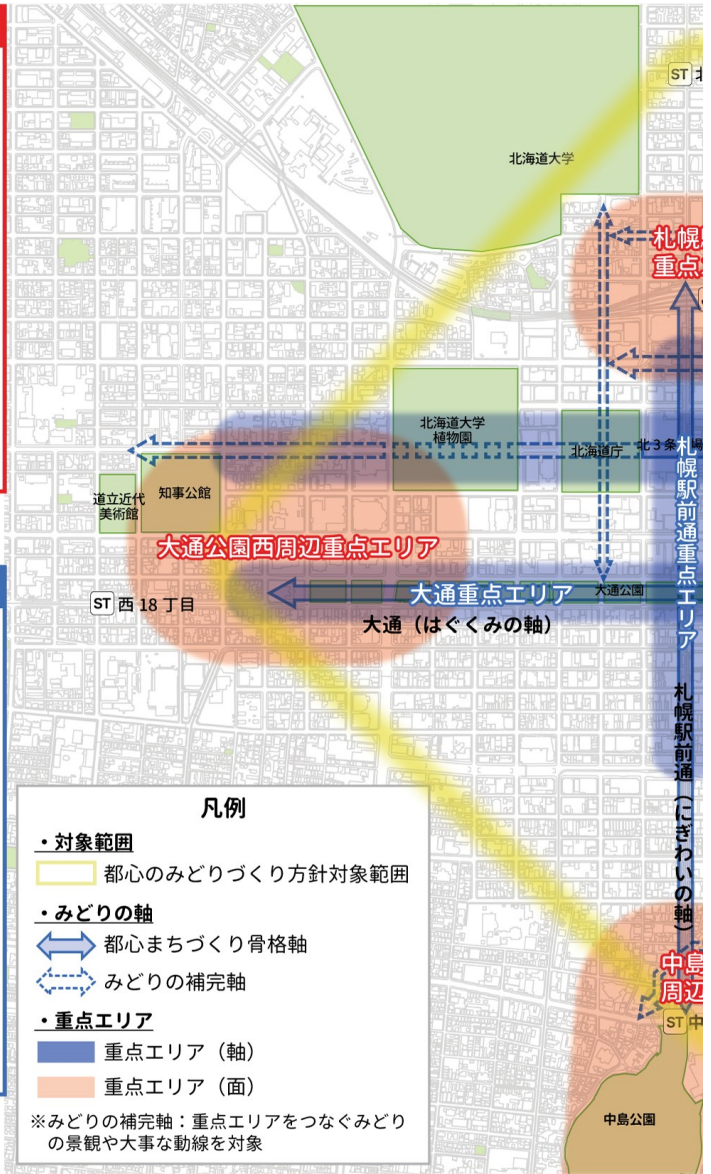
- 北3条通植物園以西へのみどりのネットワークの強化
- 大通公園のあり方の検討
- 民間開発等によるみどり・公園機能の充実



大通公園



知事公館



中島公園周辺重点エリア

方向性 地域資源の公園や水辺空間を活かした、都心の新たな拠点を彩るみどりづくり

取組

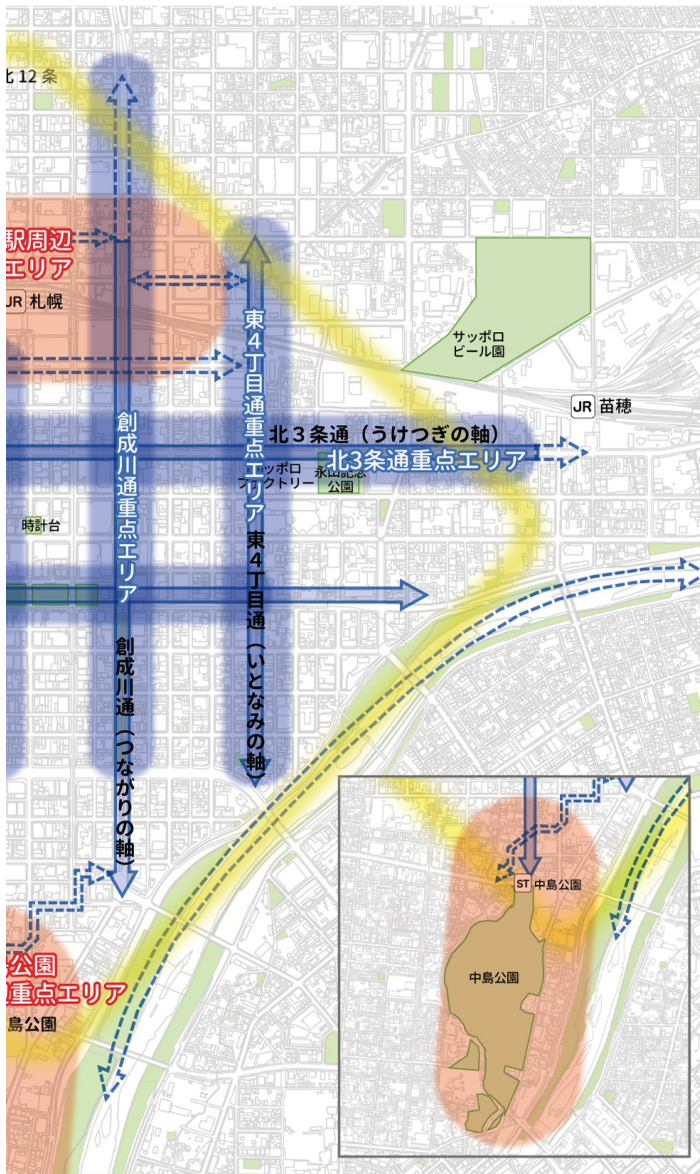
- 中島公園の魅力アップに向けた機能の強化
- まちづくりの動きに伴うエリア内のみどりの充実
- 民間開発等によるみどり・公園機能の充実



中島公園



鴨々川



札幌駅前通重点エリア

方向性 札幌の目抜き通りとしての賑わいや多様な活動と調和したみどりづくり

- 取組**
- 健全で風格ある道路緑化の強化
 - まちづくり会社と連携した歩道美化
 - 民間開発等によるみどり・公園機能の充実



北3条通重点エリア

方向性 札幌の歴史や文化を継承し、風格を備えたみどりづくり

- 取組**
- 健全で風格ある道路緑化の強化
 - 沿道企業による緑化イベント（北3条フラワーカーペット）
 - 民間開発等によるみどり・公園機能の充実



創成川通重点エリア

方向性 創成川の水辺環境と調和し、憩いとやすらぎを創出するみどりづくり

- 取組**
- 創成川公園以北の憩いの空間やみどりのネットワークの強化
 - 民間開発等によるみどり・公園機能の充実



東4丁目通重点エリア

方向性 職・住・遊を支える軸としての象徴性と回遊性を創出するみどりづくり

- 取組**
- 東4丁目通沿いのみどりの充実（歩道拡幅に伴う街路樹の整備）
 - 民間開発等による都市公園の整備（(仮称)北6東2公園）
 - 歩道美化の充実
 - 民間開発等によるみどり・公園機能の充実



4-2 主要事業

重点エリアのうち、札幌市でこれから取り組む象徴的な公園・緑地事業を主要事業と位置づけ、みどりづくりやオープンスペース、公園のあり方について検討していきます。

(1) 大通公園のあり方の検討

大通公園は、明治4年（1871年）に道路として整備されてから現在に至るまで、札幌の象徴的な空間として市民や来街者に親しまれてきました。

■大通公園の整備の歴史

○大通公園のはじまり

現在の大通公園は、明治4年（1871年）に火防などを目的に道路として整備されたことから始まります。その後、明治44年（1911年）には、西3丁目から西7丁目までが道遥（しょうよう）地（散策する場所）として整備されました。



現存する大通火防線内樹木植栽設計図(所蔵:東京都公園協会)

○戦中戦後の大通公園

戦時中の昭和19年（1944年）には食糧不足から1万坪が菜園となりました。戦後昭和24年（1949年）以降は、以前のような花壇のある公園を望む機運が高まり、芝生と花壇がある公園へと復旧。昭和55年（1980年）に、都市公園法に基づく公園として告示され、名実ともに大通公園となりました。



畑となった大通公園と供出された黒田清隆像(札幌市公文書館)

○平成の再整備

昭和63年（1988年）、風格ある魅力的な都心づくりを目指し、大通地区と札幌駅前通の整備が計画され、大通公園は平成元年（1989年）から6年をかけて再整備工事が実施されました。工事では、樹木や芝生の生育環境の改善、バリアフリー化等の整備がされ、また、大通8丁目・9丁目を連続化し、世界的な彫刻家イサム・ノグチの「ブラック・スライド・マントラ」を設置することで、子どもたちの空間を創出しました。

大通公園は平成元年から6年をかけて実施した再整備からおおよそ30年を迎えようとしており、施設の老朽化への対応が求められています。また、都心においては、ブランド力の向上や快適で豊かな暮らしの実現、まちの強靱化等が求められ、公園においても新たな機能や周辺のまちとの連携等のあり方を検討する必要があります[※]。このような大通公園の現状や求められる役割を踏まえ、今後のあり方を検討していくことが必要です。

※大通公園に関する市民意見は参考資料の資料3、4、5をご覧ください。

■大通公園のあり方の検討に向けた3つの考え方

大通公園の今後のあり方を検討するにあたり、現状等を踏まえ、3つの考え方を整理しました。

考え方1 「いこい」と「にぎわい」の両立を検討していきます

日常的に利用できる空間の強化や時間の確保による「いこい」の充実とともに、多くの市民に親しまれてきたイベント等による「にぎわい」との共存を実現するための取組を検討していきます。

取組 イメージ

- 日常利用とイベント利用の使い分け
- 公園の憩い機能を発揮する公園敷地内外の空間形成
- エリアごとの特徴を活かした公園の利活用
- 多様な園内利用の検討と実現に向けた仕組みづくり

考え方2 大通公園の魅力と機能の向上を検討していきます

美しいみどりのある景観や都市環境の向上等といった公園の持つ機能を向上し、札幌市のシンボルとしてふさわしい公園づくりを目指し取組を検討していきます。

取組 イメージ

- 老朽化に対応した大通公園の再整備の検討
- 従来からの役割の継承・強化と新たな可能性の検討
- 大通公園の回遊性の向上に向けた議論と検討
- 民間事業者と連携した公園整備手法の検討




考え方3 沿道と連携したみどりの軸の強化を検討していきます

大通公園と周辺のまちが相互に魅力を高め合うことを目指し、周辺のまちづくりと連携しながら取組を検討していきます。

取組イメージ

- 公園～道路～民間敷地が一体となったみどりの空間の創出
- 公園敷地と隣接した歩道部分の活用
- 地下鉄などからのアクセス性を高める地下空間との連携
- 公園と沿道が連携した賑わいの空間の創出

○利活用のイメージ

<p>歴史と文化の薫る空間</p> <p>重要文化財の札幌市資料館とサンクガーデンが調和した文化と歴史の薫る空間としての活用</p>  <p>【主な施設】 札幌市資料館、サンクガーデン等</p>	<p>戦略的活用エリア</p> <p>テレビ塔など札幌を象徴する施設が集積する空間のため、都心の公園にふさわしい使い方を試みる空間としての活用</p>  <p>【主な施設】 テレビ塔、噴水等</p>
<p>子どもが遊び健やかに過ごせる空間</p> <p>みんなが使える遊び場で、子どもが遊び健やかに過ごせる空間としての活用</p>  <p>【主な施設】 ブラック・スライド・マントラ、遊水路等</p>	<p>賑やかな都心のオアシス</p> <p>大通駅から最も近いエリアで、市民の憩いやイベント活用に大きく貢献するエリアとしての活用</p>  <p>【主な施設】 噴水、野外ステージ等</p>

(2) 中島公園の魅力アップに向けた機能の強化

中島公園は、明治20年(1887年)に「中島遊園地」として整備されて以降、これまで100年以上の長い歴史の中で、豊かな地域自然と人々の賑わいや憩いの場との調和を図りつつ、公園づくりが進められてきました。

現在も園芸市やさっぽろまつりでは、多くの人々が訪れる中島公園ですが、近年の都心部の公園は、多様なライフスタイルを支える快適性の高い環境整備が求められています。また、公園北側を含む中島公園駅周辺では、都心のまちづくりの新たな拠点の形成に向けて、まちづくり基本構想が策定されるなど、新たな土地利用の展開に向けた機運が高まっています。

これらを踏まえ、中島公園のこれまで培ったレガシーを維持しつつ、今後の都心のまちづくりに寄与する公園の方向性を検討するため、恵まれた立地性を活かした更なる公園の魅力アップに向けて検討を行います。

新たな可能性

中島公園駅周辺のまちづくりエリアの拠点化、新MICE施設、都市公園に求められることの変化 など

検討の視点

歴史、景観、芸術・文化、健康・スポーツ、公園運営、国内外の来街者への対応、子どもの利用、まちづくりへの貢献など



取組 イメージ

- 中島公園の魅力向上に向けた検討を行います
- 民間資本の活用に向けた検討を行います

(3) 創成川公園以北の憩いの空間やみどりのネットワークの強化

一般国道5号創成川通(都心アクセス道路)の整備に合わせて、創成川通の車線を減らすことにより創出される地上部の空間を活用した創成川公園の北伸などを検討し、憩いの空間の創出やみどりのネットワークの強化を目指します。



創成川公園整備前



創成川公園整備後(狸二条広場)



現在の創成川公園

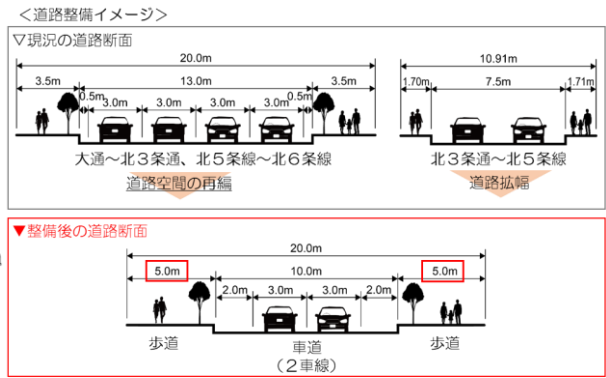
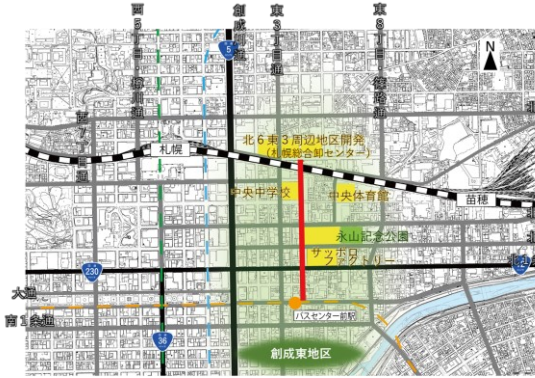
取組 イメージ

- 憩いと交流の場となる親水緑地空間の整備を検討します
- 札幌駅周辺と大通周辺をつなぐ歩行環境の形成と回遊性の向上を図ります

(4) 東4丁目通沿いのみどりの充実

創成東地区のまちづくりの基軸として整備が予定されている東4丁目通の歩道拡幅に合わせて、街路樹等によるみどりづくりを検討します。

また、札幌総合卸センター周辺の民間開発においては、東4丁目通から札幌駅につながる回遊性の高い空間の充実と憩いの空間の創出に寄与するみどりづくりが期待されています。



取組
イメージ

- 創成東地区まちづくりの基軸にふさわしい街路樹等によるみどり豊かな街並みを創出します
- 民間開発等と連携して回遊性の向上に寄与する「みどりの歩行者ネットワーク」の形成と充実を図ります

(5) 札幌駅周辺のみどりの充実

札幌駅周辺エリアでは北海道新幹線の札幌延伸に向けて、駅前広場や駅周辺の街区で民間開発が進んでおり、この機会をとらえてみどりの充実を図っていきます。

なお、北5条西1・西2地区では屋上をスカイガーデンとして緑化することが検討されています。他の事業においても、屋内外での効果的なみどりの導入を目指します。



北5西1西2 建物・スカイガーデンイメージ 出典：準備組合提供

取組
イメージ

- 札幌駅周辺での、再開発等に合わせた屋内外の緑化を誘導します